

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	湖南省立岩根こども園 (幼保連携型認定こども園)
代表者氏名 (管理者)	園長 三日月 綾子
法人名	湖南省
定員 (利用人数)	160名
施設・事業所 所在地	湖南省岩根2225番地
FAX	0748-72-1389
TEL	0748-72-1389
電子メール	iwane-ns@city.shiga-konan.lg.jp
ホームページアドレス	https://www.city.shiga-konan.lg.jp/soshiki/kodomomirai/yoji_shisetsu/28136.html

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会
評価実施期間	令和7年11月11日・11月19日

3 評価の概要

○ 総合評価

湖南省立岩根こども園は、自然豊かな場所にあり、田園風景も近くに広がっています。近郊には、工業団地や小規模のショッピングモールがあり、働く人や子育てをする人にとって良い立地に位置しています。近隣こども園が満員で入れない子どもが入園するなど、湖南省全体を補完する受け入れこども園としての立場にあります。こども園の園舎は、二階建てで開放感があり、広く明るい建物になっています。園庭も広く、園児が身体を動かすには十分な環境があります。二階には子育て支援センターがあり、未就園児親子も交流の場となっています。また、併設されている一時保育室では就労や用事等で子どもを預けることが可能です。オープンスペースや遊戯室では子どもたちが迷路や秘密基地を作って遊んでいます。年間を通じて作品を作り、廊下に展示していて、子どもたちが自らこども園をデザインしているような感じが見受けられます。市内近郊に工業団地があることで、外国にルーツがある人が在住している関係で、日本語が苦手な保護者もいますが、こども園職員が一体となって支えています。保育士は幅広い年齢層で構成されていて、男性保育士も活躍し、新しい時代のこども園を作りたいと志が高い職員が多く在籍しており、魅力的なこども園になっています。

○ 特に評価の高い点

①「古典的な保育の考え方から新しい保育観へのチャレンジ」

常に子どもを中心に捉え、子どもに負担が行き過ぎているかと考え、新しい時代のこども園の姿を目指しています。例として、秋の作品展示をやめ、年間を通したギャラリー展などにシフトしています。ギャラリー展は、クラス単位で作品ができたタイミングで個々に個展のような感じで開催し、他の学年の保護者も迎えの際などに気軽に見ることができます。さらに、運動会を「フェスティバル（名称：きらきらカーニバル）」に変更し、みんなで体を動かすお楽しみ会というような考えに転換しました。かけっこがなく寂しかったなどの声がある一方で、保護者も職員も含めてみんなが楽しめる運動フェスになったのではないかと一定の成果と手応えを感じています。

②「文化的な多様性への配慮」

近郊に工業団地がある兼ね合いもあり、多様な人種が生活圏にいる背景があります。文化的、宗教的な背景も含めて様々な課題がありますが、子どもたちができる限りの範囲で活動や行事に参加できるよう（特に宗教上の理由で食べることが禁止されている食品や行事がある場合がある）に配慮しています。全ての文化に対応することは困難な部分もありますが、運動会をキラキラフェスティバルと変更したのもその一環で、サンバを取り入れるなど日本人や他の国籍の人が気軽に違う文化に触れる機会にもなるように工夫しています。そのことは、子どもたちが自然なかたちで多様性を身に付け、文化や宗教に関係なく人間関係を形成したり、付き合いを持つことができることにもつながっています。

③「公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組」

全体を通して、湖南省の担当課職員とこども園が協力して適正な運営が実行されていると感じました。特に「令和7年度予算執行事務取り扱い説明資料」と会議録を確認できたことは特筆すべき点です。予算委員会には市の担当課の課長部長級が参加している他、外部の専門家として元銀行OB、市議会議員等で構成された決算審査・監査委員が参加しているなど、内部で終始することなく委員構成で透明性の高い運営が適正に行われています。

○ 改善を求められる点

①「セキュリティ対策の強化」

入口の開閉（カギ）が非常にアナログで、施錠ミスがあった場合などに不審者等がいつ入ってきてもおかしくない状況です。また、防犯カメラが一台もなく、なにかあった時にこども園や所轄行政（湖南省）として証拠映像や子どもたちを守る術がないことは、現状や将来的なリスクを考えると脆弱な体制です。施設全体の周囲が田舎で、のんびりした雰囲気があるのが魅力である一方で、どこから人が侵入しても不思議ではないなど、警備に関してはノーガードの状態といえます。下見しようと思えば、グーグルマップ等インターネット上で現地でもなくとも下見が出来る時代ですので、防犯カメラの設置と出入り口の防犯の強化が急務ではないかと思われます。特に、正面入口と、第二入口、遊戯室の奥側ががら空き状態で、いつ不審者が侵入しても不思議ではない状況ですので、各方角と可能なら室内の様子も撮影しておくことが、何かあった時にこども園を守ることにつながるでしょう。

②「保育園独自の事業計画の策定」

長期計画（5年）は湖南省が作成したものがあるのはとても良い点です。岩根こども園としても、単年度計画、月案、週案、日案がしっかりしているのも評価できる点でしょう。今後は岩根こども園としての中・長期計画が作成できるとな良いでしょう。長期、中期、単年度の各計画をピラミッドの下から積み上げ、その上に月案、週案、日案が積み上がるイメージを持つとより良い長期保育計画になると思われます。逆に日々の成長記録、日案、週案、月案、単年度、中期（2～3年）、長期計画（5年）ができると、一人の園児の長期的成長計画になります。日々の保育だけに追われず、全体を包括するようなイメージで保育に関わっていく専門性が必要です。

また、岩根こども園が置かれている状況（周囲に子供がおらず、近隣から受け入れる状況が続いている）を考えると、今後の岩根こども園の存在価値を示していく必要があります。包括的な基幹型こども園として、湖南省の中で存在感を出すためにも、今の良い取り組み（例えば、現状の保育からのいい意味での脱却にチャレンジしている。新しい時代のこども園の姿を目指している。）だけでなく、中期、長期を計画化して事業としての取り組みを強化していく必要があります。具体的には、今の出生人数と湖南省が出している長期計画の人口動向の見込み推移から、岩根こども園が受け入れる人数を推計し、グラフを作成し、事業計画に落とし込み、数年後の岩根こども園の状況を、職員や可能であれば地域の人も見られるようにできるならなお良いでしょう。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受け、一つ一つ確認しながら評価や改善する点を伝えていただき、園運営や環境の整備、保育内容、保護者対応、災害対策等、改めて考えたり見直したりできる機会となりました。

評価結果では、特にインクルーシブ保育の視点から日々の保育実践について一定の評価をいただくことができ、職員の励みになりました。

また、当園のセキュリティ体制および安全管理の一部について改善の必要性をご指摘いただきました。この結果を真摯に受け止め、子どもたちの安全を守ることを最優先事項として、課と連携しながら改善に取り組んでまいります。